



採血管のお話

令和6年7月 Vol.7

神戸労災病院中央検査部

皆さんは、採血時にたくさんの採血管に血液を採取された経験はありませんか？

実は検査目的に沿った採血管が多数存在します！

当院で使用している主な採血管

採血管	フタ	検査内容 / 検査項目
	ピンク	<p>血液を固めて血清成分を取り出すための採血管です。</p> <p>血清の中には肝機能・腎機能・膵機能、脂質、痛風などが分かる様々な成分が含まれており、どの臓器にどのような異常が生じているかを間接的に調べます。</p> <p>血清はまさに情報の宝庫です。</p>
		<p>TP(総蛋白)、AST、ALT、LDH(乳酸脱水素酵素)、γ-GT、UN(尿素窒素)、Cr(クレアチニン)、UA(尿酸)、AMY(アミラーゼ)、CK(クレアチンキナーゼ)、T-CHO(総コレステロール)、TG(中性脂肪)、Na(ナトリウム)、K(カリウム)、Cl(クロール)、Ca(カルシウム)、Fe(鉄)、IP(リン)、血糖</p>
	青	<p>血液を固めて血清成分を取り出すための採血管です。</p> <p>感染症、腫瘍マーカー、甲状腺などの免疫検査に用います。</p>
		<p>HBsAg-HQ(HBs抗原)、HBs-Ab(HBs抗体)、HBc-Ab(HBc抗体) HCV-Ab(HCV抗体)、CEA、CA19-9、AFP(αフェトプロテイン)、PCT(プロカルシトニン)、PIVKA II、PSA(前立腺特異抗原)、TSH(甲状腺刺激ホルモン)、FT-3、FT-4</p>

採血管	フタ	検査内容 / 検査項目
	紫	<p>血液を固めないで血球の数や形を調べるための採血管です。 赤血球の数・白血球の数や種類・血小板の数などを測定し、貧血や炎症の程度を調べます。</p> <p>WBC(白血球数)、RBC(赤血球数)、Hb(ヘモグロビン) Ht(ヘマトクリット)、PLT(血小板数)</p>
	黒	<p>凝固や線溶の検査を調べるための採血管です。 血液は血管内で固まらないように流れています。しかし、いったん出血すると出血を止めようと血栓ができます。また、反対に血栓のできすぎを防ぎます。このような血液が固まるまでの時間(凝固)や血栓が溶けてできる物質(線溶)を調べます。</p> <p>PT(プロトロンビン時間)、APTT(活性化部分トロンボプラスチン時間)、Fib(フィブリノーゲン)、FDP、D ダイマー</p>
	黒	<p>赤血球沈降速度を調べるための採血管です。 赤血球が採血管内を沈んでいく速度を測ります。通常、血沈と言います。 血沈のみで疾患を特定することはできませんが、体内に炎症を伴う疾患の有無を調べます。「炎症反応のスクリーニング検査」として有用です。</p>
	赤紫	<p>血液型を調べるための採血管です。 ABO 血液型を判定します。 輸血する時には、同じ血液型の血液製剤を使用します。</p>